

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	御幸日中活動センター	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人県福祉会 ・代表者名 佐瀬 睦夫 ・住所 神奈川県大和市柳橋5-3-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護（定員30名） 在籍者数 17名（平成30年3月31日現在）																																				
収支実績	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th rowspan="2">収支差額</th> </tr> <tr> <td>福祉事業活動</td> <td>75,345千円</td> <td>福祉事業活動</td> <td>75,927千円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>49,857千円</td> <td>人件費</td> <td>54,188千円</td> <td rowspan="7">-1,079千円</td> </tr> <tr> <td>川崎市単独扶助</td> <td>13,259千円</td> <td>事務費</td> <td>11,896千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料等</td> <td>0千円</td> <td>事業費</td> <td>7,158千円</td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>9965千円</td> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>2,685千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2,264千円</td> <td>施設整備等支出</td> <td>497千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>75,345千円</td> <td>合計</td> <td>76,424千円</td> </tr> </table> <p>※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</p>	収入		支出		収支差額	福祉事業活動	75,345千円	福祉事業活動	75,927千円	給付費	49,857千円	人件費	54,188千円	-1,079千円	川崎市単独扶助	13,259千円	事務費	11,896千円	指定管理委託料等	0千円	事業費	7,158千円	拠点区分間繰入金	9965千円	拠点区分間繰入金	2,685千円	その他	2,264千円	施設整備等支出	497千円	合計	75,345千円	合計	76,424千円		
収入		支出		収支差額																																	
福祉事業活動	75,345千円	福祉事業活動	75,927千円																																		
給付費	49,857千円	人件費	54,188千円	-1,079千円																																	
川崎市単独扶助	13,259千円	事務費	11,896千円																																		
指定管理委託料等	0千円	事業費	7,158千円																																		
拠点区分間繰入金	9965千円	拠点区分間繰入金	2,685千円																																		
その他	2,264千円	施設整備等支出	497千円																																		
合計	75,345千円	合計	76,424千円																																		
サービス向上の取組	<p>・医療的ケアを要する方を含め重度の利用者を多く受け入れ、常設の展示スペースを設け、啓発の場を確保した創作活動や月1回の外出活動をはじめ、今年度より器具を使用した運動と音楽に合わせた体操を月1回実施しているなど利用者の身体機能や日常生活能力の維持・向上に取り組んでいる。</p> <p>・支援実例の少ない障害の支援に関する取り組みを行う中で、外部のアドバイザーの定期的な来所により、利用者の様子を見てもらうとともに、支援方法のアドバイスをもらい、職員の資質向上も踏まえ、利用者の充実した地域生活の確保に努めた。</p>																																				

3. 評価（評価段階：5～1 標準：3 加点割合：5→100%、4→80%、3→60%、2→40%、1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	3	6
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>（評価の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアが必要な利用者をはじめ、看護師が日頃から健康管理を行い、食事時には胃ろうの処置をしている。利用者の状況は支援員の職員と状況が共有されており、一体的な支援がされている。 ・特別支援学校等卒業生対策として、学校や家族と丁寧な調整を行い、今年度卒業予定者4名の実習を受入れ、利用率の向上に繋がる取り組みに努めた。 					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>（評価の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支出については、事務費の支出を節減しているが、人件費が高く、当初の見込みを上回った。 ・収入については、利用率の低下により給付費収入が減っており、拠点区分間長期借入金を借り入れたことにより、収入が保たれている。 ・社会福祉法の基づく、適切な会計手続が行われている。 					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
<p>（評価の理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業活動においては、自助具を作成したり、作業工程の中で利用者のそれぞれの可能な作業に参加させるなど細やかな支援を行っている。また、近隣の地域資源を有効に活用した外出プログラムも積極的に行っており、屋外なら感じられる風や音・光などを楽しむ取り組みを実施した。 ・「みんなの声BOX」をリニューアルしたことにより、新鮮な意見を引き出し改善することができた。また、機関紙「みゆき」を発行して、特別支援学校等、各関係機関に配布し、施設の活動を周知している。 					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 法人の内部研修(神奈川県大和市中心)が受講しにくい立地であるが、法人の計画に基づいて研修を受講している。支援事例の少ない障害を有する利用者を、専門機関の助言を得ながら積極的に受け入れ、障害支援の新たな分野を切り開くべく先駆的に取り組んでいる。また、AEDの講習会も積極的に行っており、緊急時に備えている。 ヒヤリハットは起きた日にその原因を検証し、全職員で共有することを徹底している。また、苦情案件もなく、運営ができています。 防災訓練を年に2回行い、うち1回は上階の老人いこいの家とともに実施して、館全体の安全管理体制を確認している。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	4	4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> 各種保守・点検、警備等については、委託により仕様書に沿って適切に実施されている。また、開設7年目を迎えたこともあるが、厨房やエアコン、床の貼り替え工事を適切に行っている。 外溝の清掃は、職員自身が定期的に行い、美観を損なわないよう努めている。なお、施設内の清掃に関して、障害のある清掃員を直接雇用しており、「サービスを受ける対象としての障害者」という一面に意識が偏らないように考えられていることは評価できる。 					

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計: 100点満点, 標準点: 60点

評価ランク: A~E, 標準: C, A→80点以上, B→70点以上80点未満, C→60点以上70点未満, D→50点以上60点未満, E→50点未満
A→特に優れている, B→優れている, C→適正である, D→改善が必要である, E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・地域で暮らしている様々な立場の人がお互いを知るための活動として、地域の祭りや上階にある老人いこいの家の催しに参加し、利用者自身が創作品の販売に携わることによってモチベーションの向上につながったほか、施設や創作品だけでなく利用者のことも知ってもらう機会となっている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・利用者の意見・要望を収集するための手法として、利用者満足度調査の実施に努めること。
・重度かつ支援方法未確立な障害のある利用者の受入れを積極的に行っていることについては評価できるが、30名の定員を充足することについては引き続き努力が求められる。